

NETWORK

県空連新体制スタート

新しい飛躍をめざして

表面的な技術の修得に走ることなく
礼と節を重んじ道を追及すれば必ずと成果は生ずる

山形県空手道連盟会長 高橋 和雄



存じます。

即ち表面的な技術の修得に走ることなく礼と節を重んじながら「道」を追及する姿勢を堅持すれば、必ずから成果が生ずるものと思えます。

連盟の組織も新体制となってスタートいたしました。

さらに新しい飛躍をめざして役員、加盟団体一体となったご尽力をお願い申し上げます。

平成六年度の県連諸行事も終了し、役員、協力いただいた加盟団体のみならず本会にご苦労をもちまして県知事に就任することができましたが、職務の都合もあり、親しくみなさまにご挨拶もできかねて心苦しく思っているところです。また、選ばせながら平成四年の第47回国民体育大会「べにはな国体」におきましては、役員、加盟団体のみなさまには万難を排した

ご協力を賜わり重ねてお礼申し上げます。この国体で培った結束の力を維持し、さらに今後の空手道発展のため大いに活かしていただきたいと念願するものであります。いま、国内外の社会経済情勢はめまぐるしく変転しているところですので、こうした状況のなかでは、目前の混迷に流されることなく、冷静、的確な状況分析と判断、透徹した洞察をもとに平常心を

失うことなく適切な対処をなすことが肝要であります。さらに、このような資質を如何にして身につけるかが現代に生きる我々にとりまわって大きな課題の一つとなつてはいるのです。こうしたことから、みなさんが日夜鍛錬を続けている空手道こそまさに最適のものと確信しているところです。

次代を荷う青少年を育成される指導者のみなさんには、特に人間教育について十二分に留意しながらご指導いただきたいと

ポスト国体の重点活動について

新事業部体制に変換

加盟団体に役立つきめ細かな事業展開を推進

山形県空手道連盟理事長 田鎖 光雄



ユニケーションがさらに活

飛鳥前理事長をはじめとした諸先輩の威業を引き継ぎ早や一年が過ぎたところです。

振りかえってみますと県連の活動は、遡ること十五年程前より経営業務に加え、47国体のうちにはな国体と改称)に向けた運営準備と選手強化に全力を注いでまいりました。

この長期間にわたる役員と加盟団体みなさんの物心両面の多大なご協力とご負担に対し深く感謝申し上げます。

こうしたことから、べにはな

国体後の県連活動を考えた場合、競技団体としての基本は踏まえながらも、可能な限り加盟団体のみならずにとつて役立つ事業を展開することに力を入れていく必要を強く感じたのであります。

そのため、従来の専門部体制を発展的に拡充した事業本部体制に切り換えると共に、普及事業を所掌する普及部を新しく設けました。

この普及部の活動を通じて県連と加盟団体みなさんとのコミ

発となり県連運営に反映されることを希望いたします。現在、平成六年度総会においてご承認いただきました県連の組織、事業体制について規約改正に向けた成文化作業が進められ、来たる平成七年度総会に提案する予定です。

また、平成七年は県連発足三十周年となりますので、記念事業についても検討いただくと



さらに、隣県の福島県におい

新組織体制について

常任相談役の設置、専門部体制の改正。新たに普及部を設置して競技部、強化部合わせて三部門体制に。

副理事長 工藤 清

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、半世紀に一度開催される「べにはな国体」からすでに二年を経過致しました。その折には皆様方から絶大なご支援とご協力を賜り、史上最

競技部、強化部の三専門部を配置致しました。

以下に各専門部の業務を紹介致しますと、まず第一に普及部の業務としては、空手道の普及啓蒙、ジュニア育成事業、広報活動機関誌の発行、

三段以下)、指導者育成事業な

第三に強化部の業務としては、強化選手の指定、選手の強化育成事業、代表選手の選考会、各種トレーニング方法の研究などあります。

また、事業内容によっては各専門部で重なり合うことも考えられますので、相互の連携を図りながら業務運営を行う予定であります。

尚、役員体制についても、基本的には各地区から選出し、併せて個人的に協力を得られる方を配置致しました。

今後は皆様方から建設的なご意見を頂きながら、規約改正も含めて細部にわたった検討を積み重ねてより良い県空連の執行体制の確立と運営を目指したいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



↑ 審判講習会で講師を務める工藤副理事長

とであります。

第二に競技部の業務としては、審判に関する業務と競技運営に関する業務の二つに分けられます。まず審判に関する業務としては、審判員育成事業審判講習会、全空連公認

審判員審査会、大会時における審判員確保、競技ルールの検討などあります。一方、

競技運営業務としては、県空連主催大会の競技運営全般の指導、大会記録の集約、競技用具の維持管理などあります。

専門部 活動報告と 新年度の抱負



強化部長 安達 剛

選手のリベルアップの為、強化練習を毎週日曜日と祭日に実施した。遠征は東京都に於いて一都一府七県の合同合宿又栃木県茨城県との合同練習、福島県との合同練習、大阪遠征に参加した。



普及部長 深瀬 久男

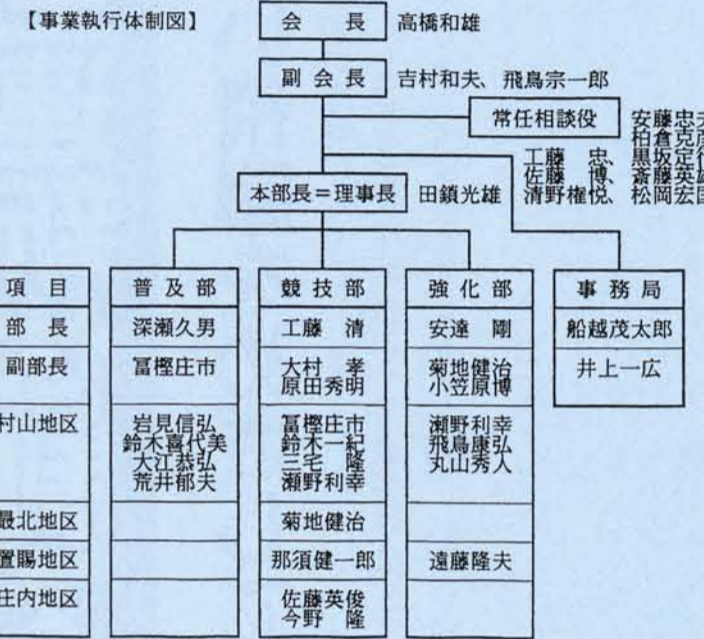
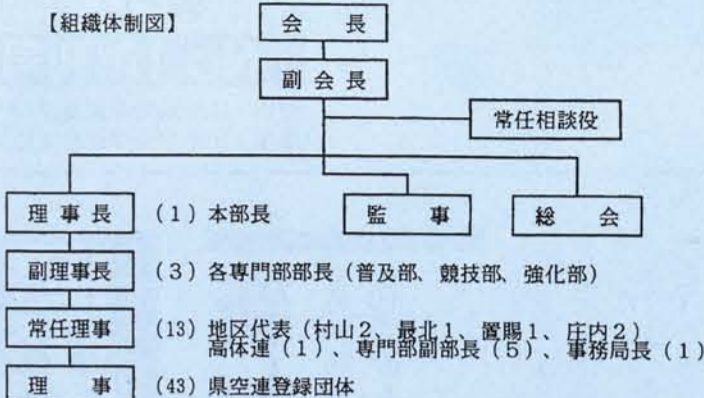
今年新設されました普及部は、部員一同本機関誌の発行に全力投球致し、無事第一号を発行することが出来ました。



競技部長 工藤 清

平成六年度より従来の審判部が競技部と改正され、今後県空連主催の各種大会の競技運営全般を担当することになり、業務内容が一段と広範囲になりました。

の普及、拡大に少しでも役に立てるよう頑張りたいと思います。



来年度は、本機関誌の発行と共に、全日本空手道連盟の公認三段位までの審査会、それぞれの団体、個人に役立つような講習会を行い、空手道

また、現在の県空連指定のネクタイも大部月日が経過しておりますので、この機会に新しいものに替えていく予定で検討しております。

また、これらのことについては競技部員をはじめ各関係者にもご協力を得ながら全面的な見直しの検討を図って参りましたが、まだまだ不備な点があるかと思っております。次年度もこれらの事項について再度検討を加えながら、より良い競技運営ができるように取り組みを行きたいと考えております。

栄光を目指して「わかしやち国体」熱戦報告

第四十九回国民体育大会「わかしやち国体」空手道競技は、平成六年十月三十日(日)から十一月一日(火)まで三日間の日程で愛知県岡崎市の岡崎中央総合体育館武道館棟において開催された。

取り勝ちとなった。成年男子組手無差別級(選手：中村和道、酒田南高教員)

二、今回の大会を省みた場合下記のような事項を指摘できる。(1)組手競技

型競技については、男女共ナショナルチームに所属のベテラン選手中心で展開され特に目新しい特徴は感じられなかったものの、自由型での剛柔会(流系スーパージンベイ)を演ずる選手が若干目立っていた。

以下、競技の状況を報告する。成年男子組手個人戦(選手：安達智也、東海大山形高校)

成年男子組手団体戦(選手：丸山秀人、川崎電気)

このことは、当然練習量の不足にもよるが、過度の緊張、下半身のバランスを保持する持久的筋力の不足などによるものと思われ、メンタル・コントロールを含めて今後の強化面において一考を要する点であった。

三、今後の対応方針 来年は、隣県の福島県下郷町を会場として第五十回国民体育大会空手道競技が開催される。これを迎えるべく福島県勢の今大会の成績は、中量級織田達哉、重量級二瓶靖の二選手がベスト、成年女子型杉山裕美選手がベスト、少年女子型湯田匡江が三位、そして、成年男子組手団体戦が地元愛知県と一一の内容勝ちながら優勝と確実に力を発揮している。

成年男子組手中量級(選手：横田和浩、天童高教員)

成年女子型(選手：西堀裕子、中央学院大)

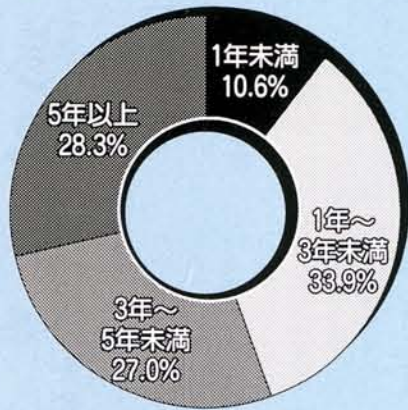
このことは、ニューメンフォー採用による顔面攻撃に対する恐怖感の減少とコントロールされた技であればライトコンタクトは積極的に取っていくべきである。

そのための(1)冬期トレーニングの強化 (2)大学生選手を含めたスピード対応の訓練 (3)福島県への遠征強化等年間を通じた強化計画の見直しとトレーニング内容の工夫を基に、来期国体の必勝を期すべく強化部を中心に早期の対策を講ずることとした。



理事長 田鎖 光雄

1. 子供さんの空手歴は、何年位ですか？

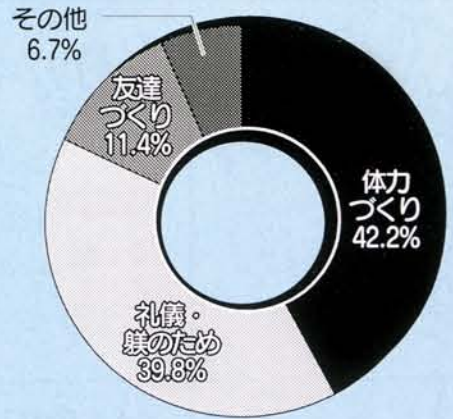


私にも言わせて!

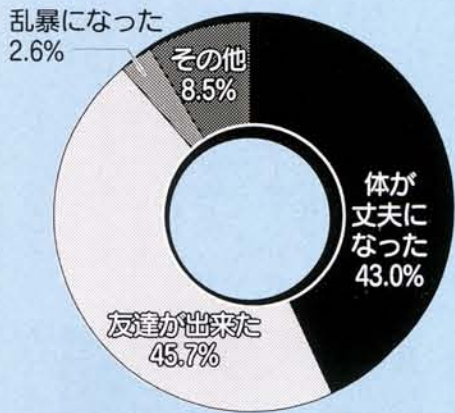
父兄201名の回答。

普及部では、昨年11月に開催された少年少女選抜大会において、ご父兄の方にアンケート調査を依頼しました。その結果201名の回答が寄せられ、ご父兄の方々の関心の高さがうかがわれました。

2. 空手を始めた動機について



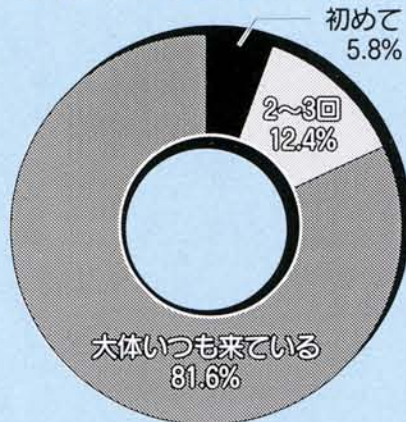
3. 空手を始めてどのように変わりましたか？



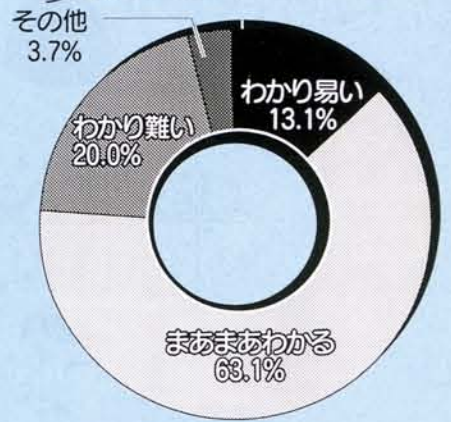
その他の回答

- ・挨拶と礼儀が身についた
- ・姿勢が良くなった
- ・自信が付き堂々としてきた
- ・いじめがなくなった
- ・元気がよくなった

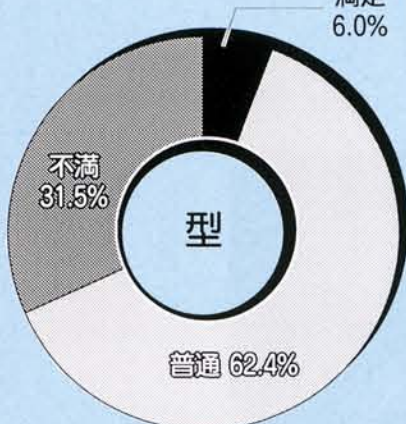
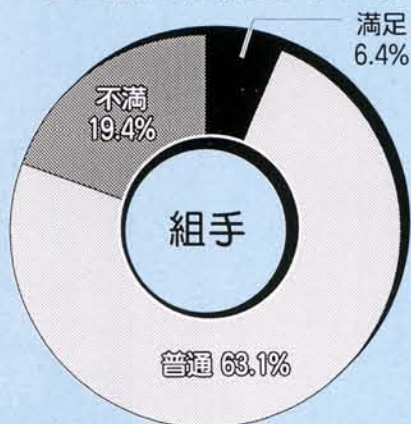
4. あなたはいつも大会を見にいらっしゃいますか？



5. 試合のルールや勝敗の基準について



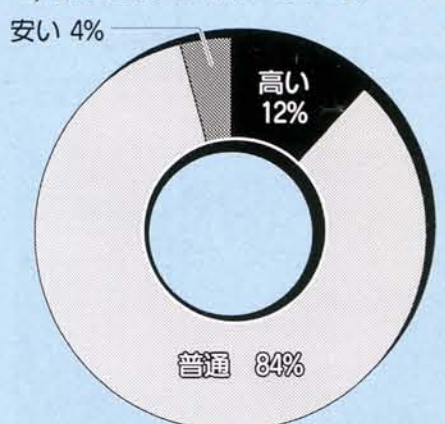
6. 審判員の判定について



不満と答えた方に具体的にお聞きしました

- 型について
 - ・審判の判定動作が遅い
 - ・回りを待ってから点数を変える審判がいる
 - ・基準が明確でなく、審判の判定にバラツキがある
 - ・帯の色による先入観、道場によってひいきがある
 - ・審判によって自分の道場の子には、点数が甘くなっている
 - ・先に型をやった人と中・後半にやった人では、基準が段々とあいまいになってきている
- 組手について
 - ・組手の判断基準がわからない
 - ・判定が別れた場合は、一言説明がほしい

7. 大会参加料について



この度の少年少女選抜大会時において、競技内容についてのアンケートをお願い致したところ、多数の回答が寄せられましたことに対し深く感謝申し上げます。

その内容は「競技ルール」と「審判員」に関するものが多くありましたので以下にお答え致します。

まず競技ルールに関してですが、空手道の競技(組手・型)は、全日本空手道連盟の競技規定に基づき、細部は山形県空手道連盟の申し合わせ事項に則って行われます。組手競技は平成六年四月より

アンケートについての回答

得点基準・得点バラツキ・道場びいき

二人制(ミラー方式)から三人制に改正され、型競技についても若干の改正があります。

どんな競技でも、当事者だけがわかるのでは本場の普及発展につながりません。観客も分かりやすい競技規定にしていく必要があるものと思えます。今後は各種大会のプログラムに組手と型の見方というページを設けて、競技がわかりやすく観戦出来るようにしていきたいと思えます。

次に審判員の資質の問題ですが、審判員は言うまでもなく中立公正でなければなりません。また判定に関す

VOICE

選抜レポート

系洲会本郷道場 佐藤 喜三

「礼で始まり礼で終わる。さびさびした凛々しい子供等が競う。」なんて素晴らしい光景なのか。逆に見習わなければならぬのは我々親の方かもしれない。

さて競技の方に目を向けると「型」、「組手」の両方において採点の方法が、我々の父兄からみると難解な面が多少みられたような気がする。採点基準が明確に判るような説明、或いは冊子などで広報する



べきではないのか。そうすれば応援する側ももっと熱が入るような気がする。

ところで応援する我々父兄

子供の心の変化

系洲会 小池 運太郎

五年生の娘、どうみても二・三年生位の小柄な子供で、吹けば飛ぶような子が三年生の時「空手をやりたい」と言ったとき、ビックリ、そして二年ちよつと、親も周りもここまで頑張るとは思ってもみませんでした。

空手を始めてからは、学校を休むこともなくなり、にがてだった体育も進んで楽しくやれるようになりました。春にあった相撲大会では、五人



このすばらしい空手が、もつともつと、多くの子供に、親に、わかってもらいたいと思います。

態度行動の良否は、空手道競技の消長に重大な影響を与えます。従って審判員は常に練習を怠らず、信頼のある判定を行う必要があります。そのために県連盟では年に二回(春・秋)の審判講習会を実施し、規定と実技の講習を行いながら審判技術の統一を図っております。

現在県連盟では、全空連公認審判員(全国・地区・県)の有資格者が一一一名おりますが、資格を所有していても日頃の研鑽がなければ役に立ちません。今後とも審判員の資質向上と山形県全体のレベルアップを目指し、指導徹底を図りたいと思えます。

道場紹介 県空手道部

迷える空手マンたちよ！
老いるにはまだまだ早い。
生涯現役を目指す空手家
たちがここにいます。

県空手道部は、昭和四十一年四月、安藤忠夫氏が創部。県空連空手史の中でも、まさに草分け的な存在でもある。以来、県空連主催の大会には、第一回より全ての大会に出場という実績を持つ。



↑右から二人目が本間主将

県空手道部は、昭和四十一年四月、安藤忠夫氏が創部。県空連空手史の中でも、まさに草分け的な存在でもある。以来、県空連主催の大会には、第一回より全ての大会に出場という実績を持つ。

熱血空手マンガ



※このマンガは、フクシオンズ。モデルは実在しません。

練習は、月曜から金曜までの毎日、昼休み時間を利用して、昼一二時一〇分〜五〇分までの四〇分間。練習時間は短いですが、それだけに準備運動、その場突き、その場蹴り、移動稽古と本間主将の気合いのもとテキパキと行われる基本稽古の後は、約束組手、自由組手、型練習等、大会や審査等に合わせた練習メニューを変えている。



この日は、最後に型の練習をして終了。草の上に置かれたジャンボな時計は、ちょうど一二時五〇分！充実感にあふれた表情で、また個々の職場へと戻って行く。

空手を始める目的は、人それぞれ。まして社会人ともなれば、仕事と空手の両立は難しく、そこには強制も強要もない。しかし一度でも空手の道を志した者が志半ばで去って行くのはさみしい。まして大会で活躍した選手たちが、現役を引退し、燃えつき、目標を失くし、空手をやめてしまふのでは余りにもさみしい。試合だけが空手の全てではない。「継続は力なり。」県空手道部の様に、たとえ華やかさはなくても、仕事と空手を両立させ、楽しみながら生涯を通して空手の道を極めて行く、そんな彼らの中に本来あるべき空手の理想と原点を見たような気がします。がんばれ、挑戦し続けるオヤジたち！

急いで着替えを済ませ、グラウンドに出る。天気は良いが、季節は十一月、さすがに肌寒い。もちろん道着一つに素足。現在部員数は女性部員五名を含む五五五名。出張等も多く、なかなか顔ぶれが揃わない。雨や雪の日は、車庫の中で練習をする。

彼らの空手にかける情熱は、燃えつきることを知らず、大会に出場する選手の平均年齢は四十歳以上、未だに現役として大会に出場し、バリバリの若手選手と拳を交える。「試合が楽しくてしょうがない」若い選手とどれだけ互角に戦い、自分の技がどこまで通じるか試みる。

私の黒帯

佐藤武夫

一九四八年三月三〇日生れ
空手道と道会五段

一度会ったら絶対に忘れないこの人、「ひげNo.1」コンテストで日本一に輝き、空手の他にも、東北弁・庄内弁を大事にする会・方言カラオケ大会・方言研究会等の会長、委員長を務め、三川町から全国へ、方言でマルチぶりを発揮する佐藤さんに登場してもらいま



私の空手との出逢いは高校時代応援団長をしていた時、応援の手振りに空手の技を入れた三三七拍子を取り入れたらいいと思いましたが、教えて頂き、約二十名の応援団は毎日空手の基本を練習しました。その結果素晴らしい三三七拍子が出来上り、自信を持って応援団活動が出来たのです。又私はこの時からヒゲを伸ばしヒゲの応援団長として注目され、空手とヒゲの出逢いはこの時からスタートしたので。本格的に空手道を習おうと行動したのが昭和四十四年で私が三川町連合青年団長をしていた時、サークル活動推進事業の中で、空手愛好会をつくり青年団約二十名が週二回の練習に打ち込みました。何事にも燃えていたこの年に結婚もしましたが、その後妻には今まで二十五年間迷惑のかけっぱなしで大変申し訳なく思っております。これから二十五年は誰よりも大事に

していくつもりです。私は家庭ではダメ親父なので妻には「感謝」、自分には「反省」、を常に心がけて行きたいのです。空手道も上手で強いのに越した事はないのですが、「身体的には丈夫な人」、「精神的には、できた人」、「社会的に役に立つ人」、それに、「やる気、努力、郷土愛を持った人」、や自分の住んでいる地域の活性化、発展に貢献する心の持てる人を多く育てたいし、それらは、あつたかく人情味のあふれる「方言」で心から接すると強い精神の持った後継者(人生の黒帯)が育つと思います。空手界からも、他分野においてももっともっと活躍する人を送り込むのが私の役割の一部と思って、皆さんと共に空手道を通じ私自身、他方面でも益々頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

ホットな奥さん こんにちは



第一回目は、平成六年度県大会チャンピオン天童高校教諭横田和浩氏の奥様、治美さんをご紹介します。昭和四一年生れ、埼玉県出身 蟹座 血液型B

横田先生とは同郷、中学、高校と同じで当時の長い付き合いで結ばれました。スポーツ歴は剣道を少々やっていたそうですが現在は愛娘優奈ちゃん(平成五年二月生)の育児に専念している為、なかなか外へ出かける機会もなく忙しい毎日のようです。それでも横田氏の空手活動には大変寛容で「ケガをしないよう気をつけて」といつも優しく送り出してくださる、実に羨ましい奥さんであります。



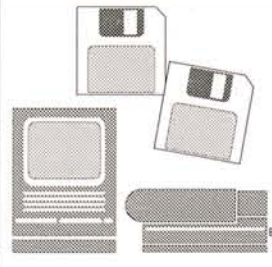
私がパパです。今、決勝戦を戦って優勝しました。

つから真面目な性格の横田氏、いつも感謝の気持ち忘れません。空手以外は目もくれず、アットホームな家庭で三人だけの幸せを築いている様子。何年かしたらきっと三人でスキーに行ける日も来るでしょう。今後とも夫婦二人三脚でがんばって下さい。最後にお忙しい処取材に快く応じて下さいまして有難うございました。

意見募集!

皆さんのご意見を募集しています。創刊号の感想、その他疑問、感動、要望 etc. テーマを問いません。あなたの素直な気持ちをお聞かせください。

宛先/千九〇
山形市鈴川町二丁目二二三
カラテネットワーク編集室
深瀬 久男



編集後記

この度、山形県空手道連盟機関紙カラテネットワーク(第一号)を無事発行出来ました。これはひとえにお忙しいところ取材に快く応じて下さいましたご父兄の方々、並びに関係各位のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。第一号として「県空連新体制について」、「私にも言わせて」等を中心に紙面を作成致しました。アンケートには、何通の回答が寄せられるか不安でしたが、予想を上回る二〇一通もの回答を寄せていただき、ご父兄の皆様の高さがかがわれました。尚、今年度からは、県内各地区に普及部員を配置し、親しみやすい紙面作りを心掛けてまいりますので、取材に訪れた際には何かとご迷惑をおかけすると思いますが、宜しくお願い申し上げます。